

第六中学校 部活動における指導指針

○八王子市立第六中学校部活動における「ねらい」

- (1) 自分たちで、意欲的に取り組むことを学ぶ。 (2) 趣味・個性を生かし、余暇を有意義に過ごす。
(3) 明るく楽しい学校生活、望ましい友情を育てる。 (4) 集団生活のきまりを学び、社会的経験を広める。

以上4点の「ねらい」を達成すべく、部活動顧問ならびに、それに関わる全ての指導者は、平成27年3月13日に文部科学省コーチング推進コンソシアムが定めた「新しい時代にふさわしいコーチングの確立に向けて ～グッドコーチに向けた『7つの提言』～」に則った指導指針に基づいて、生徒たちと向き合っていく。

1 暴力やあらゆるハラスメントの根絶に全力を尽くします。

暴力やハラスメントを行使するコーチングからは、グッドプレイヤーは決して生まれないことを深く自覚するとともに、コーチング技術や科学的に立脚した指導を実践することを決意し、部活動の現場における暴力や、あらゆるハラスメントの根絶に全力を尽くします。

2 自らの「人間力」を高めます。

コーチングが社会的活動であることを常に自覚し、自己をコントロールしながら生徒の成長をサポートするため、グッドコーチに求められるリーダーシップ、コミュニケーションスキル、論理的思考力、規範意識、忍耐力、克己心等の「人間力」を高めていきます。

3 常に学び続けます。

自らの経験だけに基づいたコーチングから脱却し、最新の環境に対応した効果的なコーチングを実践するため、最新の指導内容や指導法の習得に努めるなど、常に学び続けていきます。

4 生徒のことを最優先に考えます。

生徒の人格及びニーズや資質を尊重し、相互の信頼関係を築き、常に効果的なコミュニケーションにより、部活動の価値や目的、練習の効果等についての共通認識の下、公平なコーチングを行っていきます。

5 自立した生徒を育てます。

部活動は、生徒が学年、性別、障害の有無に関わらず、その適性及び健康状態に応じて、安全に自主的かつ、自律的に実践するものであることを自覚し、自ら考え、自ら工夫する、自立した生徒となるよう、育成していきます。

6 社会に開かれたコーチングに努めます。

部活動におけるコーチング環境を改善・充実するため、生徒を取り巻く部活動顧問ならびに、それに関わる全ての指導者、家族等の様々な関係者と課題を共有し、社会に開かれたコーチングを行っていきます。

7 部活動に関わる全ての人の社会的信頼を高めます。

新しい時代にふさわしい、正しいコーチングを実践することを通して、部活動そのものの価値や、高潔性を高めるとともに、部活動を通じて社会に貢献する人材を継続して育成・輩出することで、部活動に関わる全ての人の社会的信頼を高めます。